

2023年度 こども園 アサンプション国際幼稚園 幼稚園評価報告書

1 教育目標

キリスト教の精神の教えに基づき「誠実・隣人愛・喜び」をモットーとする。

- ・正しく生き生きとした子ども
- ・優しく明るい子ども
- ・考え、最後までやり抜こうとする子ども

キリスト教の精神を通して愛されて愛する心を知り、一人ひとりが、かけがいのない大切な存在であることを知る。ありのままの自分が認められる安心感を、また互いの違いを認め合いながら一緒に生活することの喜びを感じられるよう、愛情深く子どもたちと関わる。

2 重点取組内容

1. 教育事業
2. 教育環境の整備
3. 社会連携・奉仕事業
4. 募集に係る事業

【学校評価 自己評価アンケートの結果と分析】（2024.3月実施）

■保護者

<評価できる点>

- ・教員が子どもたちに優しく接してくれている。安心感がある。
- ・教室にいろんな玩具やコーナーがあり様々なものに触れられる環境がある
- ・毎日ブログが更新されていて、園の様子が伺える

<課題・改善点>

- ・預かり保育が以前よりは予約が取れるようにはなったが1号認定ではまだ取れない。
- ・毎日終わる時間が異なるので揃えて欲しい。
- ・縦割りでの活動時間が少ない。
- ・外遊びが少なく感じる。
- ・給食を週5日実施して欲しい。

■教職員

・英語教育は魅力的です。子どもが楽しんでいる様子を見てみると、こちらも勉強になります。英語だけでなく、世界には様々な国があることやアサンプションが世界中にあることなどグローバルな感覚を楽しみながら知る環境は素晴らしい。

- ・モンテッソーリの玩具が子ども達の身近にありいつでも遊べる環境が設定されてるところ。
- ・補助の先生が沢山いるので、心強い。負担が軽減されその分、子どもに目を向けることができる。
- ・子どもの主体性を更にどう高めていくのかは今後の課題である。
- ・教育の中身を時代に合わせていく必要があると感じる。

<学校関係者評価>

- ・昨年より預かり保育の予約が取りやすくなった
- ・先生が優しく話しやすい
- ・制服がかわいい
- ・給食がおいしい
- ・朝のお迎えにいつも先生が立っていて迎えてくれるのが良い

など、ご意見を頂きました。

また今後の改善・要望点として、

- ・英語の先生を増やして英語の回数を増やしてほしい
- ・小中高の英語の先生が幼稚園にも来て一緒に遊ぶ時間等を設けてもらえれば子供達が小学校などにも興味を持ち内部進学率が上がるのでは

といったご意見をいただきました。

<分析>

昨年は預かり保育の予約が取りにくいという意見をたくさんいただきました。2学期以降は職員体制を強化し、少しでも解消できるようにしてきました。しかし、2号認定希望の方からの問い合わせは依然と多く、今後も預かり保育の受け入れ強化が必須と考えています。また英語教育についても一定の評価をいただいているが、まだまだ不足しているようです。一貫校を活かして、英語教育をどのように発展していくのか、それを園児募集に繋げていくことが今後の課題です。教員確保が非常に難しくなっておりますが、如何に預かり保育と英語教育を進めていくのか今後検討いたします。

3 本年度の取組内容及び自己評価

重点取組内容	今年度の重点目標 (Plan)	具体的な取組計画・内容 (Do)	評価指標 (Check)	自己評価 (Action)
教育事業	(1) 教員のレベル向上	<p>(ア) 教員スキル向上のための研修を受ける。</p> <p>(イ) 学校カウンセラーによる研修を実施する。</p> <p>(ウ) 「カトリック教職員保育大会」に参加する。</p> <p>(エ) 学院外講師を招き、体験活動を実施。</p> <p>(オ) 宗教教育 目には見えないけれど、いつも見守ってくださる方がいらっしゃることを子どもたちが感じる。</p> <p>(カ) 英語、体操、それぞれの専門指導員のもと、保育を実施する。</p>	<p>(ア) 近畿地区研修大会等、オンラインでの研修の中から自ら学びたい分野の研修を受け、保育の質の向上に努める。</p> <p>(イ) 学校カウンセラーによる研修「より良い環境を考える」を研修のテーマとしてグループディスカッションを用いて年3回実施。</p> <p>(ウ) パウロ酒井俊弘司教様の講話、「カトリックの視点から見た保育とは」を聞き、カトリック教育の理解を深める。</p> <p>(エ) 書道、茶道等の体験活動を実施。また影絵劇団「おととえ座」による観劇を楽しむ。</p> <p>(オ) 日々の生活の中、で静かに手を合わせ祈る。また讃美歌を歌ったり聖劇を通して神さまを身近に感じる。聖堂に行き、シスターから神さまのお話を聞く。</p> <p>(カ) 専門指導員による体操指導により心と体の鍛錬と体力の向上を図る。また英語専門の指導者のもと、英語でのゲームで遊んだり歌ったり楽しみながら自然に英語や国際感覚を身に付ける。</p>	<p>判定： できた ○ 一部できた △ できなかった ×</p> <p>(ア) 判定：△ オンライン研修が中心であった。そのため研修を受けやすく、各自たくさんの学びがあった。非常勤教員の受講が少ないので受けるように啓発していきたい。</p> <p>(イ) 判定：○ 教職員間で意見を言い合うことができ、それぞれの悩みを出し合うことで、分かち合いの時を持つことができた。</p> <p>(ウ) 判定：○ 対面での研修であったため、より心に届く研修となった。研修をさらに重ねることにより、カトリック教育への理解を深めていく。</p> <p>(エ) 判定：○ 普段できない体験をすることができ、子どもたちも集中して取り組んでいた。</p> <p>(オ) 判定：○ シスターから直接お話を聞くことで、神さまが、いつも見守ってくださっていることを感じ、静かな心で祈ることができた。</p> <p>(カ) 判定：○ コヤマススポーツスクールに体操を業務委託し、子どもたちの運動能力を伸ばした。幼児英語では、ネイティブ専任教諭による「ジェーンイングリッシュ」を実施し幼児期から英語に興味関心を持つことができた。</p>

<p>2 教育環境の整備</p>	<p>(1) 子どもたちが毎日過ごす環境を安全に整える。</p>	<p>(ア) 毎日の各所安全点検の実施する。</p> <p>(イ) 通園バスの乗降の際は、ケガのないよう意識を高く持ち、マニュアルをもとに安全に送迎する。</p> <p>(ウ) 箕面市、警察署と連携を取り、交通安全教室を実施</p> <p>(エ) 門の前での送迎時の見守りを実施する。</p> <p>(オ) カメラ付きテレビモニターの設置。</p>	<p>(ア) 園庭、遊具点検を実施する。</p> <p>(イ) 登降園時の通園バスでは、人数確認、名簿確認をきちんと行い、忘れ物、子どもの置き去りがないよう、乗車職員と運転手によるダブルチェックを行う。</p> <p>(ウ) 園庭に横断歩道や車道を描き、警察官の方により横断歩道の渡り方等を指導してもらう。</p> <p>(エ) マナーを守って安全に登降園できるよう、守衛や職員が門の前で迎え入れや送り出しをする。</p> <p>(オ) カメラ付きテレビモニターを7台設置。</p>	<p>(ア) 判定：○ 毎日、日直が遊具点検を実施することができた。</p> <p>(イ) 判定：△ 通常の人数確認、名簿確認に加え年度途中から置き去り防止装置設置を行い、トリプルチェックで安全に送迎できた。ただし急ブレーキにより園児がケガする事象が発生した。更なる安全対策が必要である。</p> <p>(ウ) 判定：○ 簡易信号機を用いて実際に手を挙げて横断歩道を渡る疑似体験をすることで、子どもたちの心にも響いた。登降園の際も左右を確認しながら門を出る姿が見られた。</p> <p>(エ) 判定：○ マナーを守って安全に登降園できるよう、教員が迎え入れや送り出しをするようにした。</p> <p>(オ) 判定：○ カメラ付きテレビモニターを設置していることにより、子どもたちの安全を見守ることができた。</p>
<p>3 社会連携・奉仕事業</p>	<p>(1) 地域との連携や子育て支援の充実を図る。</p>	<p>(ア) 地域子育て支援のイベント「みんなであそぼう」(園庭開放)を定期的を実施。先生やお友だちと出会い、たくさん遊びを通して心身ともに育ちあう場を設ける。</p>	<p>(ア) 地域子育て支援のイベントを年間12回以上(園庭開放を含む)実施する。</p>	<p>(ア) 判定：○ 地域子育て支援として「みんなであそぼう」を実施した。平均8名ほどの親子の参加があった。また新年度の入園に繋げることができた。</p>

4 募 集 に 係 る 事 業	(1) 募集活動の強化	<p>(ア) 地域の子育て支援の一貫として「プレスクール」を実施する。就学前の2歳児の親子対象に、親子で製作や集団遊びを楽しみながら心身ともに育ちあう場を提供する。また来年度の入園に繋げる。</p> <p>(イ) 2024年度の募集を強化する。</p> <p>(ウ) パンフレット、ホームページの見直し。</p> <p>(エ) 入園説明会の実施。</p>	<p>(ア) プレスクールを実施。 ・ひとクラス12名を4クラスで行う。年間20回実施。</p> <p>(イ) 2024年度3歳児進入园児受け入れ数を80名とする。</p> <p>(ウ) パンフレット、ホームページのデザイン・掲載写真の更新。</p> <p>(エ) 一般向け2回とプレスクールに分けて対面で実施。</p>	<p>(ア) 結果：○ 40名中33名が入園に繋がった。</p> <p>(イ) 判定：× 2024年度の3歳児入園者数は53名(3月末実績)となった。</p> <p>(ウ) 判定：○ ホームページ上の写真の更新や日々のブログを更新し、最新の情報を提供した。</p> <p>(エ) 判定：○ 一般参加者66名であった。</p>
	(2) 関係各所との連携	<p>(ア) 園から併設小学校へ進学する子どもたちへの丁寧な申し送りをする。</p> <p>(イ) 小学校の生徒との交流</p>	<p>(ア) 内部進学する子どもたちの状況を小学校と情報を共有する。</p> <p>(イ) 「ハロウィンパーティー」、「豆まき」</p>	<p>(ア) 判定：○ 卒園後も引き続き細やかな配慮ができるように話し合いの場を持つことができた。</p> <p>(イ) 判定：○ どの交流会も楽しく参加させてもらうことができた。</p>